

# 『お地蔵さん詣り』遊び

山本 豊彦

すっかり忘れ去られてしまった遊びに将棋盤と駒を使って楽しむ遊びがあった。

盤上に図の様に歩兵<sup>8</sup>。香車<sup>4</sup>。桂馬<sup>4</sup>。銀将<sup>4</sup>。角行<sup>2</sup>。の計<sup>3</sup>個を並べ通路を作る。

中央に王将を重ね置く

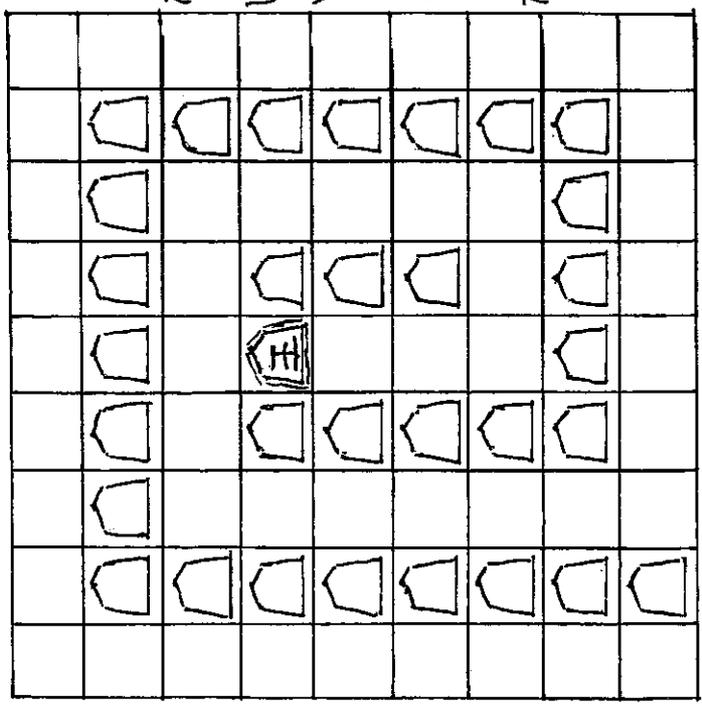
金将4個は振り駒として使い、掌中に包み持ち別の場でパッと開け出す。四枚の内表向きになったものを一つ一歩とし表向きの駒だけ、他の小物でめいめい自分の駒札を作り、前進させる

振り駒の位置により横向きに立れば五歩、縦に立れば十歩。逆さに立れば二十歩となる。

全部裏向きになれば四つ下るとか、人に追いついたら一回休みとかルールを初めに作しておく

そのようにして早く王将にたどり着き自分の駒に王将を背負って早くスタート地裏へ帰ったものが勝者になる。しかし帰途、他の駒に追いついたら王将を持ち去られます。中々スリリングな面白ものとなります。数人遊びが最適です。

是非後世に伝えてほしい遊びです。



↑スタート ⑥